

1. 追加接種(3回目接種)の概要

○追加接種の状況

接種済者数	1回目	1,123,594 回
	2回目	1,115,110 回
	3回目	35,506 回

(1月27日時点)

○特例臨時接種の期間

- ・現行の期間(令和4年2月28日まで)を延長し、令和4年9月30日まで(追加接種は令和3年12月1日から開始)

○接種対象者

- ・18歳以上の者を予防接種法上の特例臨時接種に位置付け

○使用するワクチン

- ・1回目・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを使用(ファイザー社ワクチンまたはモデルナ社ワクチン)

○2回目接種完了からの接種間隔

【変更前】2回目接種の完了から原則8か月以上

【変更後】

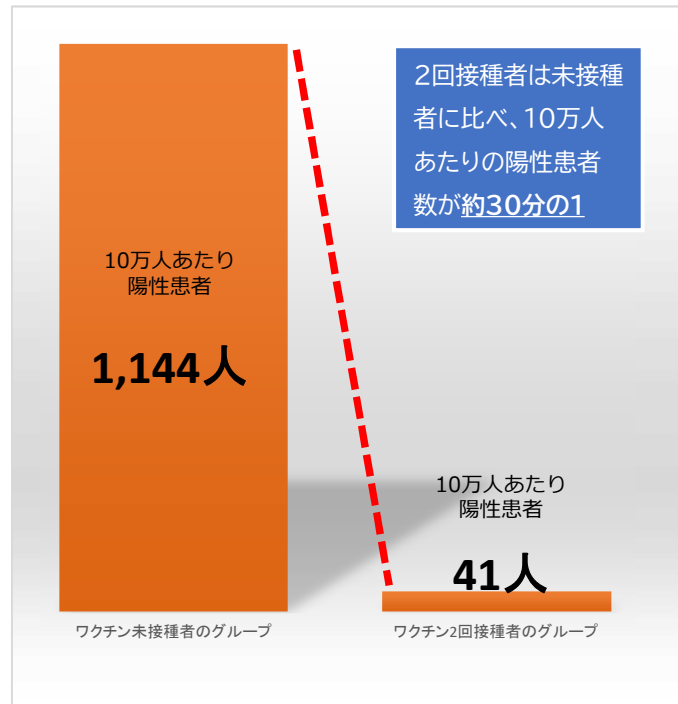
- ① 医療従事者等および高齢者施設等の入所者等
⇒ 初回接種の完了から6カ月の間隔を置いて追加接種を実施できる。
- ② 一般高齢者
⇒ 令和4年2月以降初回接種の完了から7カ月以上経過した後に追加接種を実施できる。
⇒ 令和4年3月以降初回接種の完了から6カ月以上経過した後に追加接種を実施するよう努めること。
※ ①の高齢者について一定の完了が見込まれた段階で、令和4年3月を待たずに追加接種の実施を検討すること
- ③ 一般の者
⇒ 令和4年3月以降初回接種の完了から7カ月以上経過した後に追加接種を実施するよう努めること。
※ ①並びに②の者について一定の完了が見込まれた段階で、令和4年3月を待たずに追加接種の実施を検討すること

2. ワクチン接種効果の比較

ワクチンを2回接種した者の感染、いわゆるブレイクスルー感染が増加しており、第6波においてはワクチンの感染予防効果の減衰が顕著となっている。

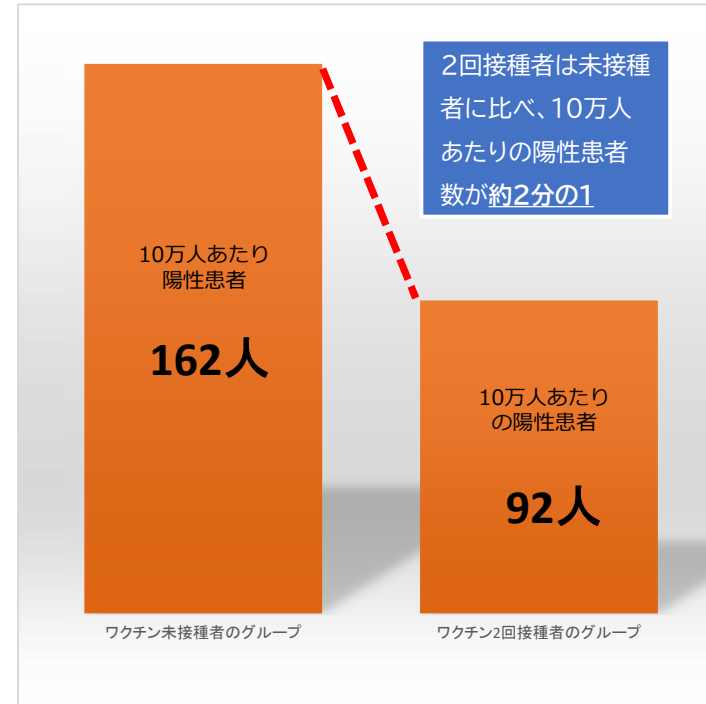
令和3年7月1日～9月30日
(第5波)

未接種者数		2回目接種者数	
	うち感染者数		うち感染者数
301,627	3,452	830,511	337



令和4年1月1日～1月15日
(第6波中)

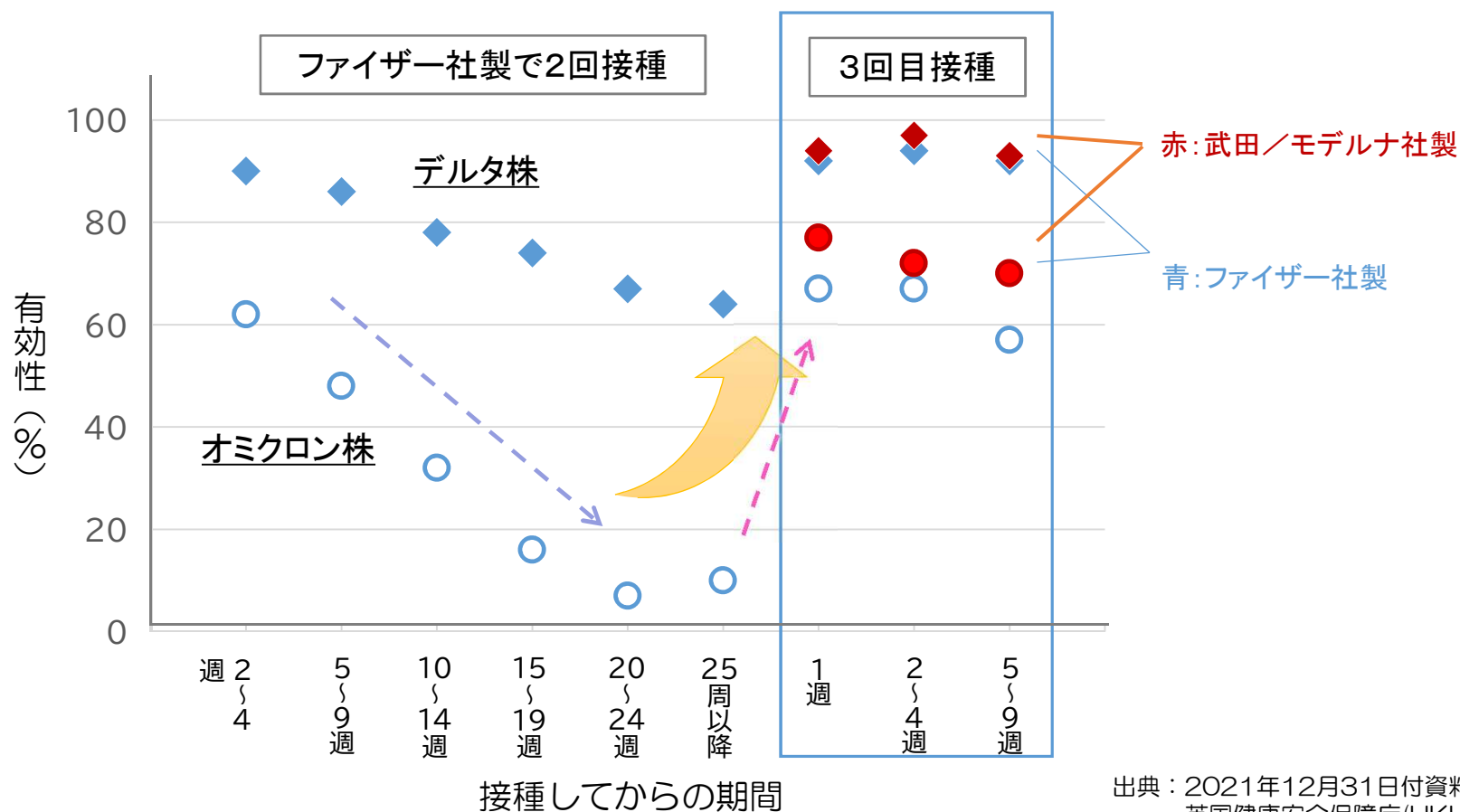
未接種者数		2回目接種者数	
	うち感染者数		うち感染者数
143,718	233	1,113,614	1,028



3. 追加接種によるワクチン接種の効果

英国健康安全保障庁(UKHSA)の評価データによると、オミクロン株に対する発症予防効果について、ファイザー社製ワクチンの2回目接種から20週間たった時点で10%程度に減少するが、ファイザー社製またはモデルナ社製ワクチン3回目の追加接種をおこない、2~4週間たった時点では、65~75%に上昇することが報告されている。

ワクチン接種による発症予防効果



出典：2021年12月31日付資料
英国健康安全保障庁(UKHSA)

4. 接種対象者数の推移

単位:千人

		令和3年	令和4年								合計
							小計				
		12月	1月	2月	3月	4月		5月	6月	7月	
		(2回目接種完了月) ~R3年4月	R3年5月	R3年6月	R3年7月	R3年8月	R3年9月	R3年10月	R3年11月		
医療従事者等高年齢者	前倒し前	12	20	14	4	---	50	---	---	---	50
	前倒し後	46	4	---	---	---	50	---	---	---	50
一般計	前倒し前	---	14	117	186	19	336	4	3	2	345
	前倒し後	24	48	249	19	3	343	2	---	---	345
合計	前倒し前	---	4	7	47	214	272	175	195	55	697
	前倒し後	11	47	---	214	175	447	195	55	---	697
ワクチンの供給(千回)	前倒し前 対象者数計	12	38	138	237	233	658	179	198	57	1,092
	前倒し後 対象者数計	81	99	249	233	178	840	197	55	0	1,092
ワクチンの供給(千回)		55	131			730	916				

(1月21日時点)

5. 追加接種における市町へのワクチン配分状況

本県へのワクチンの配分状況

配送時期	ワクチン	回数
11月15日週～	ファイザー	53,820
12月29日	モデルナ	1,650
12月13日週～	ファイザー	131,040
1月24日週～	モデルナ	175,200
2月 7日週～	モデルナ	39,150
2月14日週～	ファイザー	105,300
2月21日週～	モデルナ	77,550
2月28日週～	ファイザー	42,120
3月 7日週～	モデルナ	77,550
3月14日週～	ファイザー	74,880
3月14日週～	モデルナ	58,500
4月 4日週～	モデルナ	79,500
		916,260

(内訳等)

	回数	割合
ファイザー	407,160	44%
モデルナ	509,100	56%
	916,260	

市町への配分見込み

市 町	配分決定済み ワクチン(回)	市 町	配分決定済み ワクチン(回)
滋賀県	41,400	湖南市	39,900
大津市	212,670	高島市	33,360
彦根市	69,810	東近江市	65,640
長浜市	68,910	米原市	21,210
近江八幡市	48,150	日野町	13,770
草津市	83,220	竜王町	9,480
守山市	54,540	愛荘町	13,050
栗東市	37,950	豊郷町	6,360
甲賀市	52,170	甲良町	4,740
野洲市	34,440	多賀町	5,490
		合計	916,260

6. 追加接種における市町の接種体制

1月19日現在の予定

	ファイザー社ワクチン						モデルナ社ワクチン					
	集団接種会場			個別接種会場			集団接種会場			個別接種会場		
	会場数	規模 (1日接種回数)	接種開始 予定時期	会場数	規模 (1日接種回数)	接種開始 予定時期	会場数	規模 (1日接種回数)	接種開始 予定時期	会場数	規模 (1日接種回数)	接種開始 予定時期
大津市	----	---	----	80~130	500~1300	12月1日	2	1200	1月28日	----	---	----
彦根市	1	150	2月3日	34	266	2月1日	4	720	1月27日	4	16	2月1日
長浜市	----	---	----	50	未定	1月	5	90~525	2月5日	未定	未定	未定
近江八幡市	1	280~410	1月29日	31	600	2月1日	1	180~255	2月4日	1	150	2月1日
草津市	----	---	----	50	未定	2月上旬	2	360~450	1月31日	----	---	----
守山市	----	---	----	41	220	12月	1	150~540	2月5日	7	45	2月1日
栗東市	1	520~1,660	1月30日	17	12	2月7日	1	250~615	2月19日	2	~420	2月7日
甲賀市	2	300	2月7日	20	100~500	1月下旬	1	240~500	2月3日	----	---	----
野洲市	1	160~500	1月13日	9	未定	12月	1	250~800	2月1日	1	未定	2月5日
湖南市	----	---	----	12	84~360	1月下旬	1	162~522	2月1日	----	---	----
高島市	----	---	----	27	400	2月1日以降	2	240~600	2月19日	----	---	----
東近江市	7	900	2月3日	16	6~192	2月14日	----	---	----	10	15~450	2月1日
米原市	----	---	----	9	未定	2月4日	2	75~240	2月3日	1	90~240	2月3日
日野町	1	100~200	2月1日	----	---	----	1	100~200	2月1日	----	---	----
竜王町	1	250	3月14日	4	122	2月5日	1	250	2月14日	2	95	3月8日
愛荘町	1	180~570	2月9日	----	---	----	1	180~570	2月4日	----	---	----
豊郷町	1	90~270	3月中旬	----	---	----	1	120~270	2月下旬	----	---	----
甲良町	----	---	----	1	12~36	2月14日	1	150	2月12日	----	---	----
多賀町	1	162	2月18日	----	---	----	1	150	2月21日	----	---	----

※規模は、各会場における1日接種回数の合計

7. 県広域ワクチン接種センターの再設置(案)

項目	概要
名称	滋賀県広域ワクチン接種センター
運営期間	令和4年4月中旬～9月下旬 ※ 開設時期を3月中に前倒しすることを検討中
運営時間	金・土・日・月の週4日 金・土 受付13:30～20:00 日・月 受付10:30～16:30
接種見込数	160,000人程度
対象者	以下の者で、3回目の接種券をお持ちの方 ・県内に住民票のある者 ・県内の事業所または学校に通勤・通学している者
接種会場	南部会場(大津市) 【予診4ブース 接種5ブース】 北部会場(彦根市) 【予診3ブース 接種4ブース】
予約方法	インターネット (3月下旬～予約開始)
ワクチン	モデルナ社製ワクチン

8.小児へのワクチン接種

基本的な考え方

○対象年齢

- ・5歳以上11歳以下の者(以下「小児」という)

○使用するワクチン等

- ・小児用ファイザー社製ワクチンを2回接種

※1月21日 薬事承認

○接種体制

- ・市町の住民接種

○今後のスケジュール等

- ・厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)

1月26日 特例臨時接種として接種を実施する方向性について了承

2月上中旬 「努力義務」を適用するか等について審議(予定)

審議会です承が得られれば、速やかに予防接種法省令改正等の対応

- ・ワクチン供給 2月下旬

- ・接種開始(予定) 3月～

参考 日本小児科学会の見解(1月19日)

○基礎疾患のある小児へのワクチン接種により、重症化を防ぐことが期待される。

○健康な小児へのワクチン接種は意義があると考え。健康な小児へのワクチン接種には、メリット(発症予防等)とデメリット(副反応等)を本人と養育者が十分理解し、接種前・中・後にきめ細やかな対応が必要。

○集団接種を実施する場合においても、個別接種に準じて、接種前の問診と診察を丁寧に行い、定期接種ワクチンと同様の方法で実施することが望ましい。

9. ワクチン接種の副反応

副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和4年1月27日現在

(人)	副反応疑い報告数			年代別	
		うち重篤		64歳以下	65歳以上
			うち死亡		
男性	78	36	16	58	20
女性	150	50	5	113	37
不明	0	0	0	0	0
合計	228	86	21	171	57

※ 死亡の21例のうち、17例については、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能、4例は接種との関連ありと報告されている。

専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

総件数 (件)	手段内訳			内容内訳				
	電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他	
日中	28,360	28,191	22	147	8,757	4,364	2,493	12,748
夜間	5,311	5,298	0	13	3,687	292	672	660
合計	33,671	33,489	22	160	12,444	4,656	3,165	13,406

令和3年3月1日～令和4年1月26日

※1 日中...午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)...午後6時から午前9時まで

※2 その他...当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種に関する苦情や接種の予約など